

境界線は、逆行溶解度を呈することがわかった。また、900°C以上の温度から急冷した試料のオーステナイト相には規則反射が観察されたが、それ以下の温度から急冷した場合には規則反射は認められなかった。電顕組織お

よび回折強度より、900°C以上の規則反射は冷却中に析出した α 相によるものと考えられた。従ってパルク材においては、 $L1_2$ 構造の γ' 相は少なくとも600°C以上の温度範囲では安定に存在しないことがわかった。

会員には「鉄と鋼」あるいは「ISIJ International」のいずれかを毎号無料で配布いたします。「鉄と鋼」と「ISIJ International」の両誌希望の会員には、特別料金5000円の追加で両誌が配布されます。

新刊案内

「電磁気冶金の基礎研究部会報告書 第一分冊」

日本鉄鋼協会電磁気冶金の基礎研究部会編

定価 3,605 円 (消費税込, 送料別) 会員割引価格 2,575 円 (消費税込, 送料別)

本書は、電気および磁気のエネルギを冶金プロセスに利用する電磁気冶金に関する主要な研究成果を収録したものである。(B5版, 138頁)

なお、研究成果を重要テーマごとに総括した第二分冊である第129・130回西山記念技術講座テキスト「電磁気力を利用したマテリアルプロセッシング」[B5版, 305頁, 定価6,180円(同上), 会員割引価格5,150円(同上)]と合わせてご活用いただくことをお勧め致します。第一および第二分冊一括購入の場合にはセット価格として、定価9,270円(同上), 会員割引価格7,210円(同上)と致します。

(目次)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 熔融金属フィルムの落下挙動 | 7. 回転磁界取鍋精錬炉の設備特性と冶金特性 |
| 2. 電磁気力による熔融金属の形状制御に関する基礎検討 | 8. 電子ビーム溶解における熔融金属表面温度測定上の2, 3の問題 |
| 3. 直流磁場による熔融金属表面波動の抑制 | 9. 水素-アルゴンプラズマによる溶鋼の脱炭・脱窒 |
| 4. コールド・クルーシブルの基礎的研究 | 10. 熱プラズマと凝縮相間の反応 |
| 5. 電磁気力による熔融金属の微粒化 | 11. 熱プラズマ噴流層による複合粒子の製造 |
| 6. 強磁場中の凝固現象 | 12. チタン合金の電子ビーム溶解に関する基礎的検討 |

申込法 お申込みいただくと同時に、次のいずれかの方法でご送金下さるようお願い致します。

送金方法 ・現金書留・郵便振替(東京7-193番)
・銀行振込(第一勧銀東京中央支店(普)No. 1167361)

申込先・問合せ先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
日本鉄鋼協会庶務課 水野 電話 03-279-6021(代)